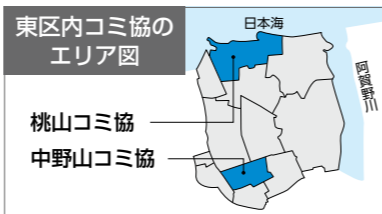


トーク(得)
**東区する
コミ協
情報**

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は地図にある2つのコミ協を紹介します。



桃山校区コミュニティ協議会 会長 鈴木 忠治

山の下船江町浜海水浴場一斉清掃

船江町浜海水浴場は、新潟空港B滑走路の運用開始に伴い、移転しました。

当初は護岸用テトラポッドに覆われ、海に入れませんでしたが、港湾事務所へ要望し、渚護岸への造り替えと子ども・障がい者のためのスロープも付けていただきました。

その結果、砂浜はどんどん広がり、休日には大勢の海水浴客でにぎわうようになりました。

また、育成協と合同で平成12年より、海の日と8月最後の日曜日に感謝を込めて、海岸一斉清掃を行っています。この功績が認められ、北陸地方整備局より感謝状をいただきました。



中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 小松 茂

楽しく、安心して暮らせる中野山を目指して

当コミュニティ協議会は、平成18年3月に設立以来、いくつかの改変をしながら活動しています。現在は①支え合いのあるまち、②居場所のあるまち、③安全で安心できるまちの3本柱を立て、事業や活動を推進しています。

通年の活動は、「パトロール事業」と「地域の茶の間なかのやま」であり、その他の事業はほとんどが、平成27年度で7回目となりました。各事業とも年々充実しており、先般実施した「第7回健康ウォーク」も206名の参加者があり、盛況でした。

また、新しい事業「地下歩道改善事業」を平成26年度より取り入れ、「楽しいまち」になるよう自治会等各種団体の連携をいっそう深めながら活動を推進していくつもりです。



**そうなんだ!
東区について知るクイズ**

全問正解者の中から抽選で**35名**に
ぬたりん文房具セットを
プレゼント!

湊足棚
マスコット
キャラクター
「ぬたりん」



- ①つややかな白さと甘さが特徴の(ア:やわ肌 イ:かた肌 ウ:しろ肌)ねぎは下山地区が特に有名な産地です。
- ②かわいらしくてみずみずしいイチゴ(ア:越前姫 イ:越中姫 ウ:越後姫)は木戸・石山地区が主な産地です。
- ③大形地区は昔から(ア:やまいも イ:ばれいしょ ウ:ながいも)の産地で、生産量は新潟県内一です。
- ④東区にある2つの大きな交通の玄関口は(ア:新潟駅、佐渡汽船 イ:新潟西港、新潟空港 ウ:リゅーとぴあ、みなとぴあ)です。

応募のきまり

ハガキにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、本紙の感想・ご意見をお書き添えの上、郵送にてご応募ください。

- 締め切り 平成28年1月29日(金)(必着)
- 送付先 本紙1面の「事務局」あて
- ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

27年度提案事業「東区まちづくり実践塾」が本格的にスタートしました!今回は事業の軸である「東区まちづくりフォーラム」「長岡市視察」を主に特集しましたが、いかがでしたでしょうか?また、前年度好評だった東区クイズが再登場!沢山の方のご応募をお待ちしております。(荒木 美穂子)

じちきょうぎかいだより
**東区自治協議会
だより**

平成27年12月20日発行

第5号

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709
新潟市東区下木戸1丁目4番1号
東区役所地域課内
TEL:025-250-2110
FAX:025-271-8131
E-Mail:chiiki.e@city.niigata.lg.jp

長岡市を視察

提案事業「東区まちづくり実践塾」の一環として、協働に関する取り組みを学ぶため、長岡市を訪問する先進地視察を行いました。当日は、施設見学や現地の担当者と意見交換をし、東区のまちづくりを考えるうえで大変参考になりました。



日時 平成27年10月29日(木)
午後1時～午後5時
視察先 アオーレ長岡
長岡市民防災公園
ながおか市民防災センター

アオーレ長岡

～市民目線のまちづくり・にぎわいづくりの集大成～

現地に到着すると「ようこそ アオーレ長岡へ」のディスプレイ表示でおもてなしを受けました。視察には年間約300団体、6,000人も訪れるそうです。長岡駅前に立地するアオーレ長岡は、屋根付き広場「ナカドマ」を中心に、アリーナ、市民交流スペース、市役所、議会などが一体となった素晴らしい施設であり、市民に大きな門戸が開かれていました。

市民交流ホールの無料化、1階に設置された市議会議場(ガラス張りで通路から見える)などが市民目線のひとつでしょう。また、施設運営には行政だけでなく、2つのNPO法人が携わることで市民協働のにぎわいづくりにつなげていると思います。

東区も、区民が集まる区役所づくりやまちなか活性化などにおいて見習う点が多いと感じました。



ナカドマ



議場

防災先進地、長岡市に続こう



防災公園



防災センター

旧国鉄の長岡操車場跡地につくられた防災公園、防災センターは中越地震後に完成した施設であり、見習うべきことが多く大変参考になりました。

公園には災害時用トイレや飲料水兼用の防火水槽などがあり、大勢の市民の命を守る設備でした。担当者との意見交換をとおして、自治会やコミ協にも小規模でも良いので、飲料水汲み上げ用の井戸、非常用発電機、炊き出し設備、マンホール使用のトイレなどを準備する必要があると感じました。

災害が起きた時、自分の町内は自分たちで守るという気概を持って防災活動に取り組もうと考えた視察でした。

「東区まちづくりフォーラム ～みんなで考える東区の未来～」を開催



日時 平成27年9月12日（土）午後1時～午後4時

プログラム

第1部 基調講演「区民協働～草の根まちづくりのすすめ～」

講師 山中 知彦 氏（新潟県立大学国際地域学部教授）

第2部 パネルディスカッション「地域活動をとらえて考える東区のみちづくり」

コーディネーター 山中 知彦 氏

パネリスト 大橋 宏子 氏（東区自治協議会委員）

近 守 氏（ぷれジョブイースト コーディネーター）

小島 基義 氏（一正蒲鉾株式会社 管理部総務人事課長）

竹中 雄亮さん（新潟県立大学国際地域学部4年）

佐藤 雅さん（新潟県立大学人間生活学部3年）

基調講演では、前東区自治協議会会長でもある山中教授から、まちづくり誕生の背景やご自身が「草の根まちづくり」に参加し仕事人間から地域人間へと変わっていったこと、さらに東区で見聞した好事例についてお話いただきました。最後に「地域とは、ただ場所があるだけではなく、そこに地域という意識を持った人間が住み、その人たちが暮らす空間があり、その中で同じ時間を過ごす。その人間と空間と時間の関係で地域が作られていく。そして、人間の知恵やコミュニティ意識、空間の持つ環境資源・地域サロン、培ってきた歴史や催事を住人が共有することで地域が継承できる。」とのお話がありました。

その後のパネルディスカッションでは、大橋さんが女性や弱者の視点で防災・減災を学ぶ「防災カフェ」や防災体操、近さんが障がいのある子どもの居場所づくりのための様々な活動、小島さんが自社と大形コミ協とが締結した「津波発生時の一時避難場所に関する協定（工場屋上を避難施設として使用）」や子育て支援の取り組みを紹介。竹中さん、佐藤さんの学生目線での感想や質問を交えながら議論を深めました。

まとめとして、山中教授から「まちづくりに必要なのは情報交換。本日の話や自分たちの活動、他の方々の活動について情報交換を促す環境づくりに努めていただき、東区全体の活性化につなげてほしい。」との締めくくりがあり、約150人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



自治協議会紹介コラム

●自治協議会（自治協）と地域コミュニティ協議会（コミ協）との違い

自治協は区民と行政との「協働の要」として、東区のみちづくりや地域課題の解決に取り組むための市の附属機関であると前号でお伝えしました。

一方、コミ協は小学校区または中学校区を単位とする自治組織です。自治会・町内会を中心にPTA、青少年育成協議会、民生・児童委員、交通安全推進協議会など地域の諸団体で構成され、安心安全なまちづくり、地域の福祉課題など自治会単位では対応が難しい課題に取り組んでいます。

あなたも自治会・町内会の活動やコミ協の活動に参加してみませんか。（若槻 勲）



各部会の活動状況

普及啓発事業の取り組みをお伝えします

第1部会（市民協働部門）

災害時ひなん誘導看板検証作業の実施

昨年度からの継続事業である「災害時ひなん誘導看板の設置」について、現地での検証作業を行いました。

山の下地区（古川町自治会）、大形地区（海老ヶ瀬第一自治会）、東中野山地区（中野第一自治会）の3地区において、自治協委員をはじめ、地域の方、新潟県立大学学生にも参加いただき実施しました。看板の位置が低かったり、木の陰になっており避難所に辿りつけない地域、的確に設置してありスムーズに避難所に辿りつけた地域とさまざまでした。

成果としては、地域の方に対してひなん誘導看板、避難場所、避難所がより印象付けられたことが挙げられます。今後、設置場所の検討等に活かしていきたいと思っております。



第2部会（福祉・教育・文化部門）

東区の魅力発見ツアーで楽しさ発見

コース① 11/7 大形神社－薬師庵－山の下神明宮（山の下木遣り見学）－じゅんさい池公園

コース② 11/11 山の下閘門排水機場－新潟空港－津島屋諏訪神社－新潟県立大学－本所緑の田園ライン

11月7日、11日に合計48名の方々のご参加のもと、東区の魅力発見ツアーを行いました。当日は昨年制作した「東区の魅力を紹介するデジタル紙芝居」を視聴し、いざ出発！薬師庵では平安時代創立という文化財の歴史を学び、山の下神明宮では代々歌い継がれてきた山の下木遣りを見学しました。

また、新潟空港や新潟県立大学を訪ね新潟の発展を担ってきた功績を知り、山の下閘門排水機場では水害から地域を守る役割を学びました。秋晴れのもと、じゅんさい池等の豊かな自然にも触れ、楽しいツアーとなりました。参加者からは「歴史のある文化財などを見学でき、有意義なツアーでした。」等のお声があり、大変好評でした。



第3部会（産業・環境部門）

地域貢献活動情報の専用ページを開設

昨年度作成した「東区内事業所の地域貢献活動情報集」の掲載内容について、さらに普及啓発するため、東区スペシャルサイト「ゲンキ魂」内に専用ページを立ち上げました。

この「東区内事業所の地域貢献活動情報」ページには、全63事業所の最新情報を「地域貢献活動を実施」「職場体験・インターンシップ受入れ」「見学会を受入れ」「出張説明を実施」の4つのカテゴリに分けて掲載しています。

区内の「産業」に関心を持つきっかけとなればと思いますので、詳しくはホームページをご覧ください。

